

磐田市

桶ヶ谷沼 ビジターセンター だより



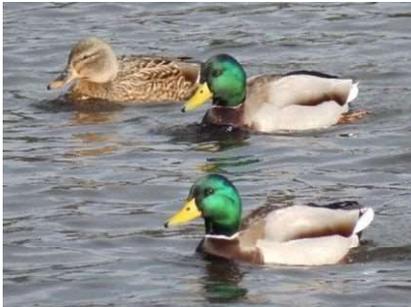
第247号 2024年12月号

開館時間: 午前9時～午後5時 (月曜日 休館)
住所: 〒438-0016 磐田市岩井 315 番地
電話: 0538-39-3022 FAX: 0538-39-3023



おけが やめま らくえん らくえん 桶ヶ谷沼はトンボの楽園からカモの楽園に

12月になり、桶ヶ谷沼や鶴ヶ池ではたくさんの数のカモを見ることができるようになりました。桶ヶ谷沼や鶴ヶ池で見られるカモを紹介し^{しょうかい}ます。



マガモ
左: メス 右: オス



コガモ
左: メス 右: オス



ヨシガモ
左: メス 右: オス



トモエガモ
左: メス 右: オス



オシドリ
左: オス 右: メス



カルガモ
オス・メスの区別が難しい

カモは渡り鳥で、10月頃から初冬にかけてロシア東部などの北国からやってきます。理由は越冬のためです。北国の冬は、湖が凍ってしまうほど寒さが厳しく、食料も取れなくなります。そのため、比較的暖かく、食料の取れる日本にやってきます。この間につがい(結婚をする)になり、3月頃北国に戻り卵を産み、子育てをします。

ほとんどの種類のカモはオスの方が鮮やかな色をしています。繁殖期のオスは、メスに目立つようにこのような鮮やかな色をしています。しかし、北国に戻り、繁殖期が終わると、オスの羽は生え変わり、メスと同じような外敵から目立ちにくい色になります。

今年もハクチョウが来るといいですね

鶴ヶ池や桶ヶ谷沼でハクチョウが最初に確認されたのは昭和35年で、その後平成6年から毎年やってきています。一昨年は12月6日にオオハクチョウ6羽（成鳥2羽、幼鳥4羽の親子）が、12月25日にはコハクチョウ6羽（成鳥2羽、幼鳥4羽の親子）が鶴ヶ池に飛来しました。去年は12月9日にコハクチョウが3羽飛来しました。

ハクチョウは、例年11月から12月にかけて飛来し、長い時には2月までいることがありますが、ここ2年は数日以内に他の場所に飛び立ってしまっています。ハクチョウは大変敏感な生き物です。優しく見守ってくださるようお願いいたします。



コハクチョウ

クチバシの黄色の部分の面積が狭く、つけ根から先までなめらか。



オオハクチョウ

クチバシの黄色の部分の面積が広く、つけ根が少し盛り上がっている。



成鳥と幼鳥の違い
手前が成鳥で向こう側が幼鳥。幼鳥は灰色の部分が見られる。

ハクチョウのナイスショット



飛ぶ直前のオオハクチョウ
水面を足で強くけり体を浮かす



飛ぶオオハクチョウ
翼を大きく羽ばたいて飛ぶ



オオハクチョウ（向こう側）と
コハクチョウ（手前側）



親子で泳ぐコハクチョウ
幼鳥の羽の色は灰色



飛ぶコハクチョウの親子
親鳥は幼鳥を気遣いながら飛ぶ



寝るハクチョウ
飛来したばかりは疲れて寝ている